

2022年8月5日
NExT-e Solutions株式会社
九州電力株式会社

大牟田市で系統用蓄電池「大牟田蓄電所」の運用を開始しました

— リユース蓄電池で再生可能エネルギーの有効活用や電力の安定供給に貢献します —

NExT-e Solutions株式会社(以下、NExT-eS)と九州電力株式会社(以下、九州電力)は、本日から福岡県大牟田市において、電力系統に接続した系統用蓄電池「大牟田蓄電所」(出力1,000kW、蓄電容量3,000kWh)の運用を開始しました。

蓄電池は、太陽光や風力などの変動する再生可能エネルギー(以下、再エネ)の発電量を調整するとともに、電力需給が厳しいときの供給力としての役割が期待されており、本蓄電所の運用開始により、一般家庭約300世帯分の1日の使用量に相当する再エネの有効活用や電力の安定供給に貢献することができます。

また、本蓄電所の蓄電池は、電動フォークリフトで使用した蓄電池を再利用しており、今後の蓄電池の普及を見据えた、資源の有効活用に資する取り組みとなります。

NExT-eSは先進のバッテリー制御技術でe-モビリティの普及促進と再エネの導入拡大に貢献することを目指しており、九州電力は「九電グループカーボンニュートラルビジョン2050」のもと電源の低・脱炭素化と電化の推進に取り組み、九州から日本の脱炭素をリードする企業グループを目指しています。

両社は今回の取り組みを通じて新たな収益を創出し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【位置】



【外観】



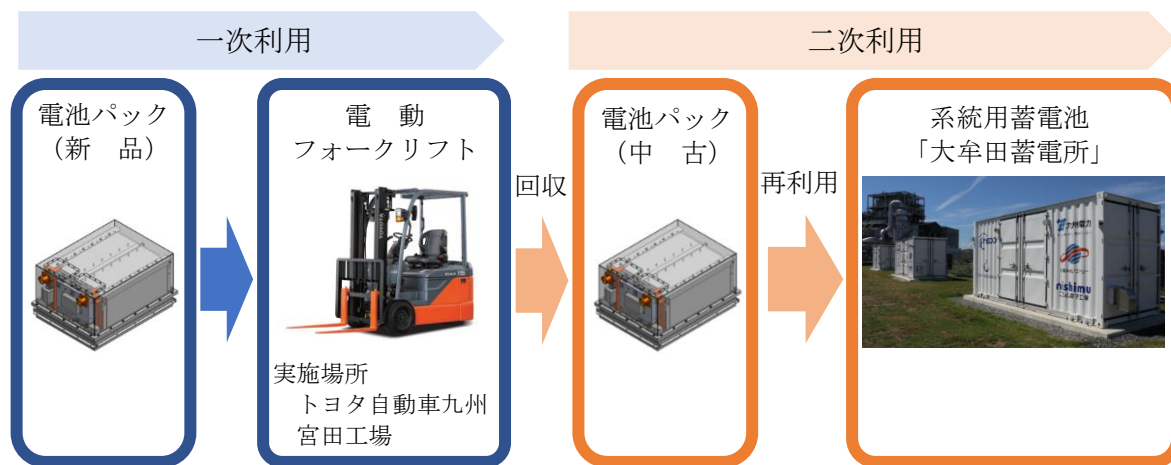
大牟田蓄電所の概要

[設備概要]

所在地	福岡県大牟田市
出力	1,000kW
蓄電容量	3,000kWh
電池方式	リチウムイオン電池（リユース蓄電池※）
その他	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業のもと、2021年5月にNExT-eS、九州電力及び九電グループのニシム電子工業株式会社が構築

※ NExT-eSが独自に開発した電池パック108個をトヨタ自動車九州株式会社宮田工場の電動フォークリフトで使用した後、大牟田蓄電所で再利用

<助成事業のイメージ>



助成事業期間：2019年5月～2021年5月

[運用体制]

NExT-eS	蓄電所所有、蓄電所の維持・管理
九州電力	電力市場での売買取引